

人工妊娠中絶術について

妊娠がわかったときに一つの選択をしなければなりません。産むか産まないか……。もし産まないという苦渋の選択しなければならないとき、母体保護法によって妊娠中絶術を行います。

こじまレディースクリニックでの人工妊娠中絶術の適応と手順を説明します。

適応 重い合併症のない妊娠5週～妊娠11週の方

- 最適な時期は妊娠6週～妊娠10週です
- 妊娠12週以降は中期中絶になりますので、分娩施設での中絶となります

手術までのステップ

1. まず診察を受けてください。妊娠週数の確認と手術日程の調整をします。
手術日は、**水・金・土の午前9時ごろ**です。
2. 診察時にクラミジア検査、血液型が不明な方は確認します。手術同意書をお渡しします。**本人と相手の自筆のサインと押印**が必要です。
3. **手術予定日の前日に前処置**を行います。**必ず手術同意書を持参ください**。
手術の際に子宮の負担を少なくする目的で子宮の入り口にラミナリア（マッチ棒ぐらいの大きさで昆布を加工して作ります）を挿入します。挿入後一時的に吐き気、めまい、貧血様の症状、腹痛がおこることがあります。しばらくするとおさまります。**抗生物質**をお渡しするので帰宅後服用します。前処置・薬代で約4000円です。
4. 前日の注意事項は、**無理をしない、入浴不可（シャワーのみ可）、睡眠をしっかりとる**。
5. 手術6時間前から**絶飲食**（食べる×飲む×）です。当日朝の抗生物質は**不要**です。
6. 手術当日の持参品（手術費用約10万～12万円、ナプキン3枚、生理用ショーツ1枚、タオル1枚）。
7. 手術当日は、化粧をしない・マニキュアはとってください。服装はスカートあるいはワンピース、上着は半そでが望ましいです。タートル・ネ



人工妊娠中絶術について

ックやセーターなどのインナー・ウェアは決して着用しないでください。当日の来院は交通機関・タクシーを利用するか、家人や友人の送迎をお願いします。帰りの際は、麻酔の影響のためご自身で自動車・バイクなど運転は一切できません。

8. 手術直前に麻酔方法・手術方法・合併症や危険性などの説明をします。説明後に会計をしていただいて、その際に子宮収縮剤をお渡しします。
9. 今後しばらく避妊が必要なケースには避妊指導も行います。

手術・麻酔方法

1. 会計後に『 4 』のとびらから入っていただきます。内診台に腰掛けていただくと自動で上昇・開脚します。そして腕から静脈点滴をします。
2. 麻酔補助の薬、麻酔薬を点滴から投与します（静脈麻酔）。投与後、「1,2,3・・・」とゆっくり呼吸しながら数えていくとだんだん意識がなくなります。
3. 麻酔が効いていることを確認してから、術野（腔内）を展開し、前処置のラミナリアを抜いて、腔内をていねいに消毒します。
4. 次に子宮内容物（絨毛組織と内膜組織）を取り除く器具を挿入して、適量の子宮内容物を取り除いた後、吸引管を子宮内にいれて掃除機のように残った組織を吸引します。手術終了後に内診台の上で目が覚めます。
5. その後回復室のベッドに移って、麻酔がしっかり醒めるまで休んでいただきます（1-2時間）。12時までには帰宅可能です。
6. 子宮収縮に伴う月経痛のような痛みや嘔気があります。強い場合には痛み止め、吐き気止めを投与することもあります。
7. 医師による覚醒の確認と出血のチェックが済んだ後に帰宅できます。
8. 帰宅後に抗生物質と子宮収縮剤を指示の通りに服用してください。
9. **翌診療日と術後7日目ごろ**に診察を受けていただきます。

診療行為に関しては状況に応じて対応が異なることがあります。その点をご理解ください。

